

二十歳を祝う式典

1月4日(水)、日高町農村環境改善センターにおいて、令和5年二十歳を祝う式典が執り行われました。式典には、対象者88名のうち70名(男子34名、女子36名)が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が欠席のため、田中副町長が町長の式辞を代読。「日々変化している生活環境に、将来への不安も少なからずあるうかと思われませんが、明るい未来を切り拓くのは、いつの時代も若者の柔軟で斬新な『発想』と『行動力』です。皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。激動進展する時代に立つ皆さんは、大いなる夢と何事にも果敢に挑戦する勇氣を持って、一度しかない人生を心豊かに歩んでいただくことを願っております」と激励。来賓の方々からもたくさんのお祝いの言葉が贈られました。

新成人を代表して、垣森優月さんに記念品が贈呈されると、稲垣愛菜さんが謝辞で「皆さま方から頂いたお祝いとお励ましの言葉を大切にしていきたいと思えます。そして、愛情をそそいでくれた親や家族、いつも近くで見守ってくださった地域社会の皆さま方に感謝し、社会のお役に立てるよう社会に貢献できる人間になることを、お誓い申し上げます」と新成人としての決意を述べました。



式典後、中央公民館前にて、細川蓮也さんの合図で「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばし、記念撮影をして新たな門出を祝いました。

（記念写真撮影は屋外で行い、一時的にマスクを外して会話はせずに撮影しました）

希望を胸に

新たな一歩



祝 20歳!

